



幼くして親元を離れ
他人の家に住み込みで働く
バングラデシュの少女たち
学校へ通うこともなく
閉ざされた世界で
だれに気かけられることもない



2017 シャプラニール全国キャラバン

羽ばたけ、家事使用人の少女たち

～家事使用人という働き方、少女たちの今そして未来は？～

バングラデシュで家事使用人として働く少女たちの教育支援と権利について保護を求める活動に奮闘しているシャプラニール。今回はダッカ事務所で最前線に立って活動しているマフザ・パルビンさんを講師に迎え、少女たちの暮らしと、なぜ支援を必要としているのか現場の生の声をお伝えします。後半は参加者の意見交換・交流タイムとなります。

日時：2017年6月18日(日)

13:30～16:30

講師：マフザ・パルビン氏

シャプラニールダッカ事務所 プログラム・オフィサー

場所：名古屋大学 国際開発研究科棟 8F オーディトリウム

地下鉄名城線名古屋大学駅より徒歩5分(1番出口より直進、信号手前を右折)
大学構内図 <http://www.nagoya-u.ac.jp/access-map/index.html>

使用言語：ベンガル語（日本語通訳あり）

参加費：無料(フェアートレードコーヒーを提供します。要マイカップ。)

定員：50名

問合せ&申し込み：シャプラニール愛知ネットワーク

E-mail: shaplaneer.aichi@gmail.com Tel. 090-9125-8825 (裏見)

主催：シャプラニール愛知ネットワーク*

共催：名古屋大学大学院国際開発研究科・国際開発学会東海支部

*この企画は、大阪コミュニティ財団の「野の花友愛基金」の助成を受け、シャプラニール=市民による海外協力の会が実施する全国キャラバン2017です。

